

令和8年度予算見積調書

課室名: みどり自然課
担当名: 野生生物担当
内線: 3143

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
N77	希少野生生物保護事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	希少野生生物保護事業費		
事業期間	平成4年度～	根拠法	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律	針路分野施策	101003	豊かな自然と共生する社会の実現 生物多様性の保全	SDGsゴール SDGsターゲット	15, 17 15-5, 15-8, 15-9,		
1 事業概要	<p>県内に生息し又は生育する野生動植物は自然環境の重要な一部である。</p> <p>野生動植物のうち絶滅の恐れがある種の保護を図るために、「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」に基づいた希少野生生物保護施策を実施することで、希少野生動植物を県民共通の財産として次世代に継承していく。</p> <p>ア 希少野生生物保護基本施策策定事業 3,468千円 イ 希少野生生物保護事業 11,454千円</p>			5 事業説明	<p>(1) 事業内容 「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」に基づいた希少野生生物保護施策を実施する。</p> <p>ア 希少野生生物保護基本施策策定事業 (通年) 3,468千円 条例に基づく「県内希少野生動植物種」「特定県内希少野生動植物種」「希少野生動植物保護区」の選定等を検討するための調査と「埼玉県希少野生動植物種検討委員会」の運営を行う。</p> <p>イ 希少野生生物保護事業 (通年) 11,454千円 希少野生生物保護推進員による「県内希少野生動植物種」の保護活動、希少野生動植物の現地調査や保護増殖等を行う。また、希少野生生物保護の基礎データとなるレッドデータブックの改訂を行う。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画	<p>ア 希少野生動植物種検討委員会の開催(年4回)、選定調査(動物種、植物種)及び保護区指定候補調査の実施 イ 希少野生動植物保護推進員の設置(6名)、連絡会議開催(1回)、保護増殖の実施(22種)、レッドデータブック動物編改訂調査検討委員会の開催、レッドデータブック動物編改訂調査業務委託の実施</p>					
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果	<p>ア 絶滅の恐れがあり、特に保護が必要な種の捕獲等を制限し、種を存続する。 イ 保護増殖実施箇所数 令和8年度までに、県内希少野生動植物種のうち飼育・栽培が可能な10種類ごとに1箇所以上増やす。</p>					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費(既設分) 9,500千円×0.6人=5,700千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 希少野生動植物の保護増殖箇所については、希少野生動植物保護推進員による自生地の巡視や、国、県、市町学校、団体、研究機関等で飼育・栽培、展示などに取り組んでいる。						

予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	14,922							14,922	9,792
前年額	5,130							5,130	

事業内訳書

事業名	希少野生生物保護事業費		
単位事業名	希少野生生物保護基本施策策定事業	予算額	3,468千円

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	3,468	133	
合計	3,468	133	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	552	0	
委託料	2,910	133	
使用料及び賃借料	6	0	
合計	3,468	133	

単位事業名	希少野生生物保護事業		
	予算額	11,454千円	
○歳入 (単位 : 千円)			
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	11,454	9,659	

単位事業名	希少野生生物保護事業	予算額	11,454千円
-------	------------	-----	----------

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	11,454	9,659	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	581	82	
旅費	30	0	
需用費	185	0	
役務費	634	△1	
委託料	10,000	9,560	
使用料及び賃借料	24	18	
合計	11,454	9,659	